

第3回 野外薬用植物観察会

教育GP「エコファーマを担う薬学人育成プログラム」の一環として、**薬学生を主対象**に、野外薬用植物観察会を開催します。他学部のお友達を誘いたい場合は、バスに乗れる範囲でできるだけ受け付けますので相談してください。また、薬学教育部の大学院生も希望があれば受け付けます。観察場所は、南阿蘇休暇村(阿蘇郡高森町)の周辺です。当日は、薬用資源エコフロンティアセンターの矢原センター長、外部講師の佐藤先生から、根子岳や高岳など雄大な自然を見ながら、自然に生育している薬用植物や希少植物の説明を聞き、観察する予定です。休暇村南阿蘇周辺には、約100種類の薬用植物と、20種類の毒草があります。(解説冊子配布予定)

観察には大変良い季節ですので、新鮮な空気と初夏の新緑・草花を楽しみ、自然からエネルギーをもらってリフレッシュしましょう! 自然に親しみながら、薬学と環境との関連や自然保護の必要性などを体感してください。

(観察コース)



希少植物: ハナシノブの花

薬学部玄関前 (9時30分集合) ⇒ 休暇村南阿蘇の駐車場到着 (11時30分) ⇒ 植物観察 ⇒ 食事(12:30~13:00) ⇒ 植物観察 ⇒ 休暇村南阿蘇の駐車場出発 (15時00分) ⇒ 薬学部玄関前到着 (17時 解散)

(見ることが出来る熊本県の希少植物) オキナグサ、ハナシノブ、ロクオンソウ。(薬用植物) アカネ、アケビ、アソコリギソウ、オキナグサ、カラスビシャク、マムシグサ、マタタビ、ヤマノイモ、ワレモコウなど、約100種類の薬用植物を見ることが出来ます。

日時: 平成22年5月29日(土)
9:30 ~ 17:00

集合場所: 薬学部玄関前

●停車中のバスに乗車してください。(参加無料)

申し込み: 薬学部教務企画係

●定員(60人)になり次第、締め切ります。

持ってくるもの

【必須】 筆記用具、弁当、飲み物、帽子、タオル

その他: 日焼け止めクリーム等

服装: 草原を歩きやすい靴、ズボン、長袖(日焼け対策)、リュック(両手が空くので歩き易い)

問い合わせ先: 薬用資源エコフロンティアセンター 矢原正治
環境分子保健学 白崎哲哉
薬学系教務企画担当 荒田良則